


近江鉄道線にふさわしいキャッシュレスシステムの導入について

(1) 近江鉄道線の特徴

近江鉄道線は米原駅、彦根駅、近江八幡駅、貴生川駅でJR線と結節しており、通勤・通学はもとより観光面においても両鉄道を乗り継ぎ利用されるケースが多く、かねてより利用者や沿線住民等からICOCA導入の要望が強い。

(2) ICOCAの基本機能

- ・自動改札機にタッチするだけで自動精算（高速処理）
- ・きっぷを買わなくていいので小銭がいらない
- ・ICOCA 1枚で全国の  マークのある鉄道・バス・お店で使える
- ・ICOCA定期券なら紛失しても再発行が可能である
- ・セキュリティが高く、信頼性がある
- ・WESTERポイントを貯めることができる
- ・新幹線や特急列車もICOCAで乗れる
- ・近江鉄道線の定期とJR定期が1枚のICOCAに搭載可能
ただし、定期券の券面に印字はされない。定期券情報はリファレンス
ペーパー（紙）で確認し、利用の際は持参が必要。
（出場時、機器に有効期限が表示される）



(3) ICOCA導入の効果

沿線住民や利用者のニーズに対応した利便性向上策であり、公有民営化によるメリットとして明確に印象付けられるとともに、ICOCAが有する様々な機能を活用し、利用者増加、増収、地域活性化に向けた新たなサービスの提供が可能となる。

県、沿線市町、近江鉄道（株）および（一社）近江鉄道線管理機構において、検討を重ねた結果、**本協議会の総意として、ICOCAを導入することとしたい。**